

平成 21 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 ムトー精工 株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 田 中 肇  
 (JASDAQ・コード 7927)  
 問合せ先  
 役職・氏名 管理部門長 竹 林 隆  
 電話058-371-1100

## 平成 22 年 3 月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 5 月 8 日の平成 21 年 3 月期決算短信(連結)発表時に公表した平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)  
 (単位:百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	8,700	440	420	280	37 円 46 銭
今回修正予想 (B)	11,000	930	960	660	88 円 83 銭
増 減 額 (B-A)	2,300	490	540	380	—
増 減 率 (%)	26.4	111.4	128.6	135.7	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	13,864	759	881	461	61 円 68 銭

2. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)  
 (単位:百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	17,400	780	740	500	66 円 89 銭
今回修正予想 (B)	21,000	1,300	1,400	900	121 円 41 銭
増 減 額 (B-A)	3,600	520	660	400	—
増 減 率 (%)	20.7	66.7	89.2	80.0	—
(ご参考) 前期実績(平成 21 年 3 月期)	24,846	1,377	1,545	826	110 円 51 銭

3. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)  
 (単位:百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	5,700	100	140	110	14 円 72 銭
今回修正予想 (B)	7,000	330	340	210	28 円 26 銭
増 減 額 (B-A)	1,300	230	200	100	—
増 減 率 (%)	22.8	230.0	142.9	90.9	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	—	—	—	—	—

(注) なお、前期第 2 四半期累計期間個別業績については、開示をしておきませんので、記載を省略しております。

4. 平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	11,600	230	300	230	30円77銭
今回修正予想 (B)	13,000	350	430	260	35円07銭
増減額 (B-A)	1,400	120	130	30	—
増減率 (%)	12.1	52.2	43.3	13.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	16,935	524	958	562	75円32銭

5. 修正の理由

(1) 第 2 四半期累計期間業績予想の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

第 2 四半期累計期間の連結業績予想につきましては、主力商品でありますデジタルカメラ、ビデオカメラ等のデジタル家電分野、ETC 車載器をはじめとする自動車関連部品とも、当初予想より受注が好調に推移し、売上高が予想を上回ったこと、生産効率の向上や原価低減を積極的に進めてきた結果、営業利益、経常利益、四半期純利益とも前回予想を上回る見込みとなりましたので、上記の通り修正いたします。

また、第 2 四半期累計期間の個別業績予想につきましても、第 2 四半期累計期間の連結業績と同様、主力商品の受注が好調に推移したこと、また、生産効率の向上や原価低減を積極的に進めてまいりました結果、営業利益、経常利益、四半期純利益とも前回予想を上回る見込みとなりましたので、上記の通り修正いたします。

(2) 通期業績予想の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

通期の連結業績につきましては、景気の先行きは依然不透明であります。現時点での予想では、受注状況はおおむね予定通り推移し、グループ全社をあげた原価低減等をいっそう注力することにより、通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を上回る見込みとなりましたので、上記の通り修正いたします。

また、通期の個別業績につきましても、現時点での予想では、受注状況はおおむね予定通り推移する予定であり、原価低減等をいっそう注力することにより、通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を上回る見込みとなりましたので、上記の通り修正いたします。また、来期より個別の従業員退職金制度を確定給付型の退職年金制度に移行する予定であり、現時点での移行時の差異相当額の見積額約 30 百万円を連結、個別の通期予想の特別損失にそれぞれ見込んでおります。

6. 配当予想の修正

上記の業績修正に伴い、当初 1 株当たりの中間配当金を 8 円と発表しておりましたが、今回 10 円と修正させていただきます。また、当社の配当方針は、配当性向が連結 1 株当たり利益の 20% を公約しておりますので、現時点では、1 株当たり年間配当金は 24 円 50 銭と予想されます。これにより期末配当金は年間配当金 24 円 50 銭から中間配当金 10 円を差し引いた 14 円 50 銭と修正させていただきます。また、今後の業績動向により期末配当金の額が変更となる場合は、期末配当金額が確定し次第、あらためてお知らせする予定です。

基準日	1株当たり配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期末	年間
前回予想 (平成 21 年 5 月 8 日発表)	8円00銭	8円00銭	16円00銭
今回修正予想	10円00銭	14円50銭	24円50銭
当期実績			
前期(平成 21 年 3 月期)実績	10円00銭	12円50銭	22円50銭

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上